

ふくい健康づくり実践事業所認定事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森 義郎	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R1 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度
事業実施方法	直営、委託			経過年数					7 年			
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 4 住みやすさを高める(地域力) 〕 政策〔 13 人生100年時代の充実生活応援 〕				関連する県の計画等		〔 第5次元気な福井の健康づくり応援計画 〕					
[解決すべき問題・課題] 本県の健康寿命の伸びは全国の伸びと比較して鈍化。働き盛り世代を中心とした健康づくりが必要である。働き盛り世代は、仕事や育児等に忙しいため、職場での健康づくりが重要であり、健康経営の考え方を普及させていく必要がある。 また、働き盛り世代の睡眠時間や睡眠による休養感は減少しているため、生活習慣の改善や事業所への働きかけが必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] ・本県の健康寿命の伸び(H28 → R1) 男性 +0.75歳(全国18位)72.45歳(H28)→73.20歳(R1) 女性 +0.48歳(全国30位)75.26歳(H28)→75.74歳(R1)						
[事業目的] 生産性の向上や企業イメージアップ、人材確保につながる「健康経営(企業が従業員の健康づくりを戦略的に行うこと)」の理念を普及啓発し、それに取り組む事業所を「ふくい健康づくり実践事業所」として認定することで働き盛り世代の健康づくりを後押しし、健康寿命の延伸を目指す。 また、国が健康日本21(第三次)の目標に睡眠の項目を追加したことを踏まえ、健康づくり実践事業所の評価項目に睡眠を加える予定であり、働き盛り世代をターゲットに睡眠キャンペーンを実施し、県民の睡眠時間の確保や質の向上を目指す。												
[事業内容] (1)ふくい健康づくり実践事業所の登録 目標:250事業所(令和11年度) 従業員の健康づくりに取り組む事業所を「ふくい健康づくり実践事業所(現150事業所)」として認定する。 (2)表彰・事例発表会等 ①優れた取組みを行うふくい健康づくり実践事業所を表彰する。 ②優れた健康経営を横展開するため、事例発表会やグループワークを行う。 (3)働き盛り世代の睡眠啓発キャンペーン 県の働き盛り世代においては、睡眠で休養が取れている者の割合は減少傾向にあり、特に男性は睡眠時間が十分に確保できている割合が減少しており、全国平均よりも低い。キャンペーンを実施し、睡眠時間の確保や睡眠の質を上げる生活習慣を啓発することで、県民の健康状態の改善を図る。 ①睡眠エピソード等の募集…働き盛り世代の睡眠エピソード等を募集し、優秀作品を選定。 ②県民参加型のイベント…事業所内の3人1グループで、睡眠の質を上げる生活習慣(同じ時間に起きる、6時間寝る等)を継続してもらい、一定期間達成できたグループを対象に抽選会を行う。												
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 75万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)					事業名		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担)		事業名		
市町との連携状況						他県の状況		富山県 「とやま健康企業宣言」 石川県 「いしかわ健康経営宣言企業」				

ふくい健康づくり実践事業所認定事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森 義郎	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		R1 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)
事業実施方法	直営、委託					□ 法定受託事務			□ 補助金			
補助率	—								□ その他			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,492				3,492							
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	522	522	524	2,819	3,492	企業PRに活用できるロゴマークを作成						
2月現計予算額の推移	522	522	524	2,819								
決算額の推移	253	467	159									
前年度までの 主な増減理由	令和6年度:優れた取り組みの横展開を図るための事例事例発表会等を開催 働き盛り世代への睡眠啓発キャンペーンの実施											
[成果指標等の推移]												
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	生活習慣病による死亡数 (人口10万人あたり)	(目標) 177.0	(169.9) 180.3	(166.0) 171.2	(162.0)	(162.0)	(162.0)	令和6年度の目標達成(平成29年度比12.8%)に向けた目標数 ※H29:185.8人 → R4:169.1人 → R6:162.0人				
活動指標	ふくい健康づくり実践事業 所認定数	(目標) 95	(120) 122	(130) 130	(150) 157	(170)	(210)	(250)	令和6年度認定数から20増(5次計画中の認定の目標 250事業所)			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
・令和5年度の生活習慣病による死亡数(成果指標)は、前年度に比べ改善したものの、県民の歩数減少や食塩摂取量の増加など生活習慣の改善が不十分であったことから、目標未達となった。令和6年度の実績は、令和7年度末に確定予定。 ・令和元年度から始めた「ふくい健康づくり実践事業所」の認定数は、年々増加しており、令和6年度の認定数は、157件となり、目標を達成。				健康づくり実践事業所をアピールできる素材があるといいという事業者の要望があったため、ロゴを作成予定。県だけでなく、企業とともに健康経営を推進していく体制とする。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

「ふくい省塩プロジェクト」推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森 義郎
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度 R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度
事業実施方法	直営、委託										
補助率	—										
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [4 住みやすさを高める(地域力)] 政策 [13 人生100年時代の充実生活応援]				関連する県の計画等	〔 第5次元気な福井の健康づくり応援計画 〕					
[解決すべき問題・課題] 本県の健康寿命の伸びは全国の伸びと比較して鈍化。福井県民の死因の約5割が生活習慣病であり、その主要な決定因子である食塩の過剰摂取に対する対策が必要である。本県の食塩摂取量は目標との乖離が大きく、健康寿命の延伸に向け、減塩を始めとする食環境づくりの推進が不可欠である。						[問題・課題を表す客観的データ] ・本県の健康寿命の伸び(H28 → R1) 男性 +0.75歳(全国18位) 72.45歳(H28)→73.20歳(R1) 女性 +0.48歳(全国30位) 75.26歳(H28)→75.74歳(R1) ・本県の食塩摂取量(R4) 男性:11.9g 女性:9.9g(目標 男性8.0g未満、女性7.0g未満)					
[事業目的] 「第5次元気な福井の健康づくり応援計画」において、最重点要素に位置付けている「減塩」を推進するため、産学官等の連携・協働により、県民自ら行動を変える健康づくりと健康行動につながる環境づくりを進める。											
[事業内容] (1)県民自ら行動を変える健康づくり ①「ふくい100彩ごはん」キャンペーンの実施 ②イベント等における「省塩」の普及啓発 ③働き盛り世代に対する食生活改善支援 ④母子栄養に関する活動支援 (2)健康行動につながる環境づくり ⑤「ふくい省塩プロジェクト」全体会の開催 ⑥「ふくい省塩プロジェクト」運営委員会の開催 ⑦「ふくい100彩ごはん」メニュー認証											
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 75万人					
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	・健康づくりに関するガイドブックを市町の保健事業等で配布 ・「ふくい省塩プロジェクト」の参画事業者、有識者、市町職員等を対象とした全体会を開催し、事例紹介や意見交換等を実施					他県の状況	・兵庫県…「ひょうご健康的な食環境づくりプロジェクト」を設立(R6) ・福島県…「ふくしま減塩推進ネットワーク会議」を設置(R6)				

「ふくい省塩プロジェクト」推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森 義郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度
事業実施方法	直営、委託					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率	—					□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	6,217	2,754			3,463	健康的な生活習慣づくり重点化事業(糖尿病予防戦略事業) 国保ヘルスアップ支援事業(国民健康保険特別会計)								
[予算額の推移等]												(単位:千円)		
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					5,208	6,217	事業の統廃合に伴う増							
2月現計予算額の推移					5,087									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	生活習慣病による死亡数 (人口10万人あたり)	(目標) (173.9) 実績 177.0	(169.9) 180.3	(166.0) 171.2	(162.0)	(162.0)	(162.0)	(162.0)	令和6年度の目標達成(平成29年度比12.8%)に向けた目標数 ※H29:185.8人 → R4:169.1人 → R6:162.0人					
活動指標	省塩プロジェクト参画事業 者数	(目標)			(10) 0	(10)	(40)	(80)	最終目標:県民の利用しやすさを考慮し、各中学校区で1以上の事業者が 参画(県内の中学校:80(福井県学校基本調査))					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価						
・令和5年度の生活習慣病による死亡数(成果指標)は、前年度に比べ改善したものの、県民の歩数減少や食塩摂取量の増加など生活習慣の改善が不十分であったことから、目標未達となった。令和6年度の実績は、令和7年度末に確定予定。 ・活動指標(省塩プロジェクト参画事業者数)について、立上げに向けた検討委員会において、立上げ時期を令和6年度末から令和7年度始めに変更したため、令和6年度実績は0となった。				・令和7年度始めに、「ふくい省塩プロジェクト」を立ち上げ、参画事業者等と連携した県民向け普及啓発イベントや広報などの企画・運営、事業者の好事例の紹介等を行う。 ・「ふくい100彩ごはん」の認知度向上・購入促進を図るため、「ふくい100彩ごはん」キャンペーンを実施する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

歩行から始める健康づくりプロジェクト事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森 義郎	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R6 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度
事業実施方法	委託			経過年数					2 年			
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 4 住みやすさを高める(地域力) 〕 政策〔 13 人生100年時代の充実生活応援 〕				関連する県の計画等	〔 第5次元気な福井の健康づくり応援計画 〕						
[解決すべき問題・課題] 本県の健康寿命の伸びは全国の伸びと比較して鈍化。福井県民の死因の約5割が生活習慣病となる中、改善のためには1日あたり8,000歩の歩行が効果的とされている。平均歩数はコロナ禍のため目標と乖離したが、手軽に誰でも取り組める歩行を通じて健康づくり施策を推進し、健康寿命を延伸しなければならない。						[問題・課題を表す客観的データ] ・本県の健康寿命の伸び(H28 →R1) 男性 +0.75歳(全国18位)72.45歳(H28)→73.20歳(R1) 女性 +0.48歳(全国30位)75.26歳(H28)→75.74歳(R1) ・県民の平均歩数(R4) 【20～64歳】男性:6,821歩 女性:5,398歩(目標 男性8,700歩 女性7,800歩) 【65歳以上】男性:5,248歩 女性:5,174歩(目標 男性6,500歩 女性5,500歩)						
[事業目的] 県民の健康づくりを推進するため、歩行その他の健康活動にインセンティブを付与する県下一斉キャンペーンを実施するとともに、啓発動画や講習会を通じて効果的な歩き方などを普及させることで、運動習慣の定着につなげる。												
[事業内容] 1. 「歩いて健康」推進キャンペーン（はぴウォーク2025） 運動不足の解消や健康活動への関心を持たせるため、インセンティブを付与し、歩行などの健康活動を促進 参加者には、歩行目標達成だけでなく、身体指標(体重、腹囲、血圧)の維持・改善を実感してもらい、歩行習慣の定着につなげる シニア世代については、フレイルによる身体機能の低下を予防するため、対面サポートによる事業参加支援、インセンティブ上乗せを通じて特に歩行を促進 2. 効果的な歩き方講習会の開催(キックオフイベント) はぴウォーク2025開始にあわせて、キックオフイベントとしてウォーキング講師による歩き方講習会を開催。 効果の高いウォーキング方法を対面指導するとともに、イベントの様子を発信し、県内のウォーキングの機運醸成を図る。												
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 75万人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	市町の健康づくり事業とタイアップし、県下全域で県民の歩数を底上げするよう、一体的な推進を図る。					他県の状況	30都府県で住民の歩行を促すインセンティブ事業を実施(令和6年12月現在)					

歩行から始める健康づくりプロジェクト事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森 義郎	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度
事業実施方法	委託											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	38,242	12,870			25,372	新しい地方経済・生活環境創生交付金						
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					17,281	38,242	アプリ等の操作説明会やコールセンター設置経費を新規計上 より幅広い世代に事業周知するためインターネット広告経費を新規計上					
2月現計予算額の推移					8,712							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	キャンペーン実績報告者の 平均歩数の伸び (目標) 実績				(1,000) 3,271	(1,000)	(1,000)	(1,000)	キャンペーン参加を通じて自分の歩行習慣を見直してもらうため、目安としてい る取組み目標(現状からの歩数の伸び)			
活動指標	キャンペーン参加者数 (目標) 実績				(20,000) 9,026	(20,000)	(20,000)	(20,000)	第5次元気な福井の健康づくり応援計画に定める運動習慣定着率を達成するた め、歩行を主な運動とする県民の数			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
・キャンペーンを通じて実績報告のあった参加者は、平均して約3,000 歩も歩数が伸びており、成果指標を達成した。 ・市町と連携した広報活動が十分ではなく、県民が本事業を知るきっか け作りが不足したため、キャンペーン参加者数が目標としていた2万人に 到達しなかった。				公式SNSや広報誌など既存の広報媒体に加え、新たにイン ターネット広告(バナー広告)を掲出し、県民へ幅広く事業へ の参画を呼びかけることで、2万人の参加を目指す。				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

健康づくりポータルサイト運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森 義郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度		
事業実施方法	委託													
補助率	—													
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [4 住みやすさを高める(地域力)] 政策 [13 人生100年時代の充実生活応援]			関連する県の計画等		[第5次元気な福井の健康づくり応援計画]							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]								
<p>本県の健康寿命の伸びは全国の伸びと比較して少なく、伸び悩んでおり、令和4年度の各目標項目が目標値に届かなかった。現在の健康づくりに関する県からの情報は不十分であり、各施策の認知度も低い。5次計画での新しい取組み(睡眠等)を含め、健康づくりに関する情報を一元的に発信していく必要がある。</p>						<p>・本県の健康寿命の伸び(H28 → R1) 男性 +0.75歳(全国18位)72.45歳(H28)→73.20歳(R1) 女性 +0.48歳(全国30位)75.26歳(H28)→75.74歳(R1)</p>								
[事業目的]														
<p>第4次元気な福井の健康づくり応援計画に掲げた目標は、その多くで達成できなかったことを踏まえ、第5次元気な福井の健康づくり応援計画においては、健康寿命のさらなる延伸を目指し、県民が取り組みやすい施策を展開する予定である。その施策とともに、健康づくり全般にかかる情報を1つのポータルサイトに集約し、県民向けに広く広報し、県民の健康づくりを後押しするとともに、健康づくりの機運醸成をはかる。</p>														
[事業内容]														
<p>運動や食生活、睡眠、歯の健康、女性の健康等、健康づくり全般の情報を一元的に発信できるポータルサイト「ふくい健康づくり応援サイト」を運用する。</p>														
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 75万人								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績) 事業名					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担) 事業名							
市町との連携状況						他県の状況	近県の状況 富山県 とやま健康ラボ https://kenko-toyama.jp/ 滋賀県 健康しが https://www.kenkou-shiga.jp/							

健康づくりポータルサイト運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森 義郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度
事業実施方法	委託					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率	—					□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	121				121									
[予算額の推移等] (単位:千円)														
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					4,846	121	6年度は、サイト構築費用と保守費用を計上 7年度は、保守費用のみ計上							
2月現計予算額の推移					3,087									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	生活習慣病による死亡数 (人口10万人あたり)	(目標) (173.9)	(目標) (169.9)	(目標) (166.0)	(目標) (162.0)	(目標) (162.0)	(目標) (162.0)	(目標) (162.0)	令和6年度の目標達成(平成29年度比12.8%)に向けた目標数 ※H29:185.8人 → R4:169.1人 → R6:162.0人					
		実績 177.0	実績 180.3	実績 171.2										
活動指標	サイトアクセス数	(目標)			(5,000)	(5,000)			1月当たりのアクセス数(令和6年11月～令和7年2月)					
		実績			20,072									
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価						
・令和5年度の生活習慣病による死亡数(成果指標)は、前年度に比べ改善したものの、県民の歩数減少や食塩摂取量の増加など生活習慣の改善が不十分であったことから、目標未達となった。令和6年度の実績は、令和7年度末に確定予定。 ・「ふくい健康づくり応援サイト」を10月に開設し、チラシ配布や他事業バナーからの遷移により、認知度向上を目指してきた。月平均アクセス数は、20,072件/月あり、目標を達成。								□ 拡充	■ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額			
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	4,725			
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他				

後期高齢者保健事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森 義郎	
事業主体	福井県後期高齢者医療広域連合				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H20 年度 経過年数 18 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/3											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 4 住みやすさを高める(地域力) 〕 政策〔 13 人生100年時代の充実生活応援 〕				関連する県の計画等		〔 第4次医療費適正化計画 〕					
[解決すべき問題・課題] 後期高齢者の健診受診率は、第2期高齢者保健事業計画に定める目標を達成して おらず、令和元年度全国平均受診率28.5%よりも低い状況である。継続的に後期 高齢者の健診受診を促進し、病気の発症や重症化を予防し、健康を保持すること により要介護状態とならないようにすることが重要である。						[問題・課題を表す客観的データ] 令和5年度の健診受診率実績値は18.9%であり、目標値受診率22.0%に未達						
[事業目的] 後期高齢者の保険者である広域連合が実施する保健事業に対し支援することで、後期高齢者の健康を増進し、健康長寿につなげる。												
[事業内容] 後期高齢者医療被保険者を対象として、福井県後期高齢者医療広域連合が実施する健康診査・歯科健康診査に係る費用の一部を補助する。 1 健康診査 ①補助対象者 ア. 県内後期高齢者医療被保険者のうち、日常的な医師の医学的管理を受けている者(施設入居者および長期入院者)を除く イ. (1のうち)75～79歳の前年度健診未受診者で、健康状態不明者および生活習慣病保有者でコントロール不良の者 ②補助内容 事業に係る経費のうち、健診受診者数×国が定める補助単価×1/3 2 歯科健康診査 ①補助対象者 県内後期高齢者医療被保険者のうち、日常的な医師の医学的管理を受けている者(施設入居者および長期入院者)を除く75～79歳の者 ②補助内容 事業に係る経費のうち、歯科健診受診者数×国が定める補助単価×1/3												
[受益者] 県内の後期高齢者医療被保険者(75～79歳)のうち健診対象者						[想定される受益者数] 47,000人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況	後期健診の実施主体は、保険者である広域連合であるが、広域連合の体 制では事業の実施は困難なため、各市町が実施する事業に対して補助を 行っている。県内のどの医療機関でも健診を受診できる体制整備を支援し ている。				他県の状況	○健診事業に対する補助実施都県…7都県 東京都、富山県、石川県、山梨県、奈良県、鳥取県、岡山県						

後期高齢者保健事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森 義郎		
事業主体	福井県後期高齢者医療広域連合				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H20 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			<input type="checkbox"/> 補助金		経過年数		
補助率	1/3								<input type="checkbox"/> その他		18 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	18,864			(繰入) 18,864		高齢者保健福祉基金							
[予算額の推移等] (単位:千円)													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		29,721	15,501	18,618	19,252	18,864	歯科健診の受診見込に応じた減						
2月現計予算額の推移		29,721	15,501	18,618	19,252								
決算額の推移		29,721	15,501	13,535									
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	一人当たり医療費 (目標) 実績	918,020	914,907	924,296					診療報酬改定などの影響を受けるため目標の設定は困難				
活動指標	健診受診率 (目標) 実績	(20.5) 15.6	(21.0) 17.9	(22.0) 18.9	(19.5)	(20.0)	(21.0)	(22.0)	令和5年度までは、第2期高齢者保健事業実施計画に定める目標値 令和6年度以降は第3期高齢者保健事業実施計画に定める目標値 健診受診率 = 後期高齢者の健康診査受診者数 ÷ 健診受診対象者数 × 100				
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
健診受診率について、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大により15.6%と低調であったが、令和4年度以降は回復傾向にある。対象者に対して受診勧奨通知や再受診勧奨等実施しているが、保健事業実施計画の目標には届いていない状況である。				前年度健診未受診者のうち、生活習慣病保有者コントロール不良者や健康状態不明者に対して健診受診を促進するため、引続き広域連合を財政支援を行い、新規の健診受診者や定期的な健診受診を促す。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	388		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

人生100年時代の歯の健口応援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森 義郎	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度	事業終了予定年度(見直し年度)	R11 年度
事業実施方法	直営、委託			経過年数					5 年			
補助率	—											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野〔 4 住みやすさを高める(地域力) 〕 政策〔 13 人生100年時代の充実生活応援 〕				関連する県の計画等	〔 第5次元気な福井の健康づくり応援計画 〕						
[解決すべき問題・課題] 子どものむし歯率は全国平均より悪い状況(小学生 福井39.5%、全国32.9%(R6))であり、小さい頃からのむし歯対策が課題となっている。 また、令和5年度健康増進法に基づく市町の歯周疾患検診の受診率は7.63%にとどまっており、成人においても、健康な歯を維持するために歯科健診受診の推進が必要な状況である。						[問題・課題を表す客観的データ] ・むし歯率 小学生 福井39.5%(全国36位)(R6) 中学生 福井34.7%(全国41位)(R6) ・県民の成人のうち歯と口腔の状態に所見を有する者の割合 71.7%(R4) ・県民の成人のうち過去1年間に歯科健診を受診した者の割合 53.0%(R4)						
[事業目的] 子どものむし歯予防や成人への歯科健診受診勧奨など、各世代に対応する歯の健康維持を推進する施策を実施することで、オーラルフレイルの予防につなげる。												
[事業内容] (1)ふくい歯と口腔の健康づくり推進協議会 歯科保健施策全体について協議する場として「福井県歯と口腔の健康づくり推進条例(令和3年4月1日施行)」に基づき設置 (2)オーラルフレイル予防等に向けた市町研修会の開催 対象者:各市町歯科保健担当者、各健康福祉センター、歯科医師会(県・各支部代表) 内容:歯科保健有識者による講演、グループワークによる研修会 (3)「フッ化物洗口」実施(県歯科医師会委託) 保育所、幼稚園等未就学児施設におけるフッ化物洗口の拡大および歯磨き教室の実施 (4)マイナス1歳からのむし歯予防事業(県歯科医師会委託) 対象者:母子手帳交付後から出産後1年以内の妊産婦 内容:母子手帳に歯科健診の案内を追加し、歯科医療機関で歯科健診を実施 (5)歯科健診受診勧奨 対象者:県内の20代から50代の働き盛り世代 内容:歯科健診受診勧奨として、インターネット広告(バナー広告)を実施												
[受益者] 県内成人、妊産婦、4歳～5歳の未就学児						[想定される受益者数] 約33万人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・市町を通じて妊産婦歯科健診のチラシを対象者へ配布					他県の状況	・むし歯率(R6) 小学生 全国32.9% 中学生 全国26.5% ・過去1年間に歯科健診を受診した成人の割合(R4) 全国:58.0%、福井県53.0%					

人生100年時代の歯の健口応援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森 義郎	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	11,548	3,879			7,669	医療施設運営費等補助金						
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	14,207	8,710	11,022	11,351	11,548	未就学児施設における歯みがき教室の開催						
2月現計予算額の推移	12,122	8,710	11,022	11,351								
決算額の推移	8,533	6,153	7,341									
前年度までの主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	5歳児のむし歯有病率 (目標)	(34.1)	(28.8)	(28.5)	(26.1)			前年度より有病率を改善する。 (令和6年度実績は令和7年11月に集計予定)				
	実績	28.8	28.5	26.1								
活動指標	フッ化物洗口実施率 (目標)	(42.0)	(34.1)	(29.7)	(35.6)			前年度より実施率を改善する。 (令和6年度実績は令和6年12月時点)				
	実績	34.1	29.7	35.6	36.8							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価				
・成果指標(5歳児のむし歯有病率) 令和5年度は、マイナス1歳からの歯科健診等の子どもの歯の健康状態を改善するための取組みを継続し、目標達成した。 ・活動指標(フッ化物洗口実施率) 令和6年度は、実施率が回復傾向であり、目標達成する見込み。				子どものむし歯率は減少傾向にあるものの、全国と比較すると依然高い状況であるため、未就学児施設において歯みがき教室も実施し、むし歯予防をさらに推進する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

女性の健康応援プロジェクト事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森 義郎	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R7 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度
事業実施方法	直営			経過年数					1 年			
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 4 住みやすさを高める(地域力) 〕 政策〔 13 人生100年時代の充実生活応援 〕				関連する県の計画等		〔 第5次元気な福井の健康づくり応援計画 〕					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<p>本県の20～30歳代女性のやせの者が増加しており、若年女性に対するやせ対策が必要である。女性の健康と大きく関連する全出生中の低出生体重児の割合は、全国よりも低い。やせの割合や高齢出産割合の上昇により、今後増加する可能性もある。健康的な生活と心身状況を維持することが、自身の望むライフスタイルを選択する際に重要であり、適切な知識を若い世代に定着させていく必要がある。</p>						<p>・本県のやせの者の割合(女性) 20歳代 18.2%(H28)→ 20.6%(R4) 30歳代 11.2%(H28)→ 20.9%(R4) ・全出生中の低出生体重児割合(2022年) 全国:9.4% 福井県:8.7%</p>						
[事業目的]												
若い女性の健康づくりを推進していくために、ライフステージに応じた健康課題や栄養等について適切な知識を啓発し、生活改善を図る。												
[事業内容]												
<p>(1) 女性のための健康講座 県内の大学に通う学生や健康づくり実践事業所など県内の事業所で働く女性をターゲットとして、ライフステージの変化に伴う心身不調への対応、やせの害悪や適切な食事の選び方など啓発を行う。</p> <p>(2) 経営者向けの女性の健康経営セミナー 健康づくり実践事業所やその他の県内事業所の経営者や健康経営を担当する者をターゲットとして、健康経営の視点で重要な女性の健康維持とサポート等に関するセミナーを行う。</p>												
[受益者] 福井県内の大学に通う女子学生、県内事業所に勤務する女性従業員および経営者						[想定される受益者数] 約6万人(20～30歳代女性)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績) 事業名					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担) 事業名					
市町との連携状況						他県の状況						

女性の健康応援プロジェクト事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森 義郎					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R7 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	—															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	497				497											
[予算額の推移等]												(単位:千円)				
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移						497										
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	心くい健康づくり実践事業 所数 (目標) 実績	(90) 95	(120) 122	(130) 130	(150) 157	(170)	(210)	(250)	令和6年度認定数から20増(5次計画中の認定の目標 250事業所)							
活動指標	健康講座を受ける大学、事 業所数 (目標) 実績					(10)	(15)	(20)	健康講座を受講する大学、事業所数の段階的な増加							
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価								
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

「元気な福井の健康づくり応援計画」改定事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課		課長名	松森 義郎
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営			□ 補助金					経過年数	2 年		
補助率	—			□ 法定受託事務					□ その他			
福井県長期ビジョン における位置付け	分野〔 4 住みやすさを高める(地域力) 〕 政策〔 13 人生100年時代の充実生活応援 〕				関連する県の計画等		〔 第5次元気な福井の健康づくり応援計画 〕					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
健康寿命の延伸を目標に、県民の健康増進の推進のため基本的な計画を定める。						・特定健康診査受診率(R5目標値:70%)…R元 55.3%→R4速報値 58.7% ・特定保健指導実施率(R5目標値:45%)…R元 25.3%→R4速報値 28.1%						
[事業目的]												
健康増進法第8条に基づき、国の基本方針を勘案し、県民の健康増進推進に関する施策についての基本的な計画として定める。令和6年度開始の国の健康日本21(第三次)に合わせ、令和5年度に次期計画を策定。(第4次計画は令和4年度までの計画期間であったが、国において医療費適正化計画等と健康日本21(第二次)に続く次期プランの期間を一致させるため1年延長し、県も国の次期プランに合わせて策定)												
[事業内容]												
「第5次元気な福井の健康づくり応援計画」の作成および配布 詳細版 220部 概要版 1,840部												
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 75万人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「元気な福井の健康づくり応援計画」改定事業 (実績) 第4次計画において定めた73指標のうち、約7割にあたる46指標がA評価(目標を達成)またはB評価(目標には達成していないが、改善傾向にある)。					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	市町健康増進計画改定時の各種目標値については、県計画が定める目標値を参考とするため、情報共有する。					他県の状況	全都道府県が令和5年度に次期計画の策定作業を実施(国から医療費適正化計画等と健康日本21(第二次)に続く次期プランの期間を一致させることを目的に令和5年度中に計画策定の準備を進めるよう指示)					

「元気な福井の健康づくり応援計画」改定事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森 義郎				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	直営											経過年数			2 年
補助率	—														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額															
[予算額の推移等] (単位:千円)															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移				1,469	1,018										
2月現計予算額の推移				1,200	416										
決算額の推移				1,144											
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	—	(目標)							計画において目標を設定しているため、事業目標の設定は困難						
		実績													
活動指標	計画策定WG開催回数	(目標)		(4)											
		実績		4											
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価							
令和6年3月に策定した計画および概要版を県内関係団体等へ配布								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	1,018				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

「ふくい100彩ごはん」プロジェクト普及・啓発事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課		課長名	松森 義郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	直営、委託														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [4 住みやすさを高める(地域力)] 政策 [13 人生100年時代の充実生活応援]				関連する県の計画等		[第5次元気な福井の健康づくり応援計画]								
[解決すべき問題・課題] 本県の健康寿命の伸びは全国の伸びと比較して鈍化。健康寿命の延伸のため、大豆・大豆製品の活用に加え、低塩分で野菜を多く使用した栄養バランスの良い食事摂取と働き世代の生活習慣の改善が必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] ・本県の健康寿命の伸び(H28 → R1) 男性 +0.75歳(全国18位)72.45歳(H28)→73.20歳(R1) 女性 +0.48歳(全国30位)75.26歳(H28)→75.74歳(R1)									
[事業目的] 県民に馴染みが深く栄養豊富な大豆等を取り入れ、低塩分で野菜を多く使用した栄養バランスのよい食事を「ふくい100彩ごはん」として、家庭食、外食・中食において普及啓発を図り、食環境整備を推進することで、県民全体の食生活を改善し健康寿命の更なる延伸を目指す。															
[事業内容] 1 県民の生活習慣を改善するための取組み ・試食体験・レシピカード配布を通じて「大豆料理100」の普及・推進 ・事業所訪問を通じて、働き盛り世代に対する減塩や肥満予防などの健康に関する正しい知識の普及 ・食生活改善推進員リーダーの活動を支援し、食を通じた次世代の健やかな生活習慣を形成 2 外食・中食に対する食環境づくりの取組み ・飲食店や惣菜店、社員食堂等におけるヘルシーメニュー等の「ふくい100彩ごはん」の認証と普及															
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 75万人									
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふくい型健康づくり推進プロジェクト (実績) ・健康づくり実践事業所の認定(67事業所) ・大豆・大豆製品を活用したレシピ収集(170種類)					関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況									

「ふくい100彩ごはん」プロジェクト普及・啓発事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森 義郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、委託					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率	—					□ その他			□ その他					
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額														
[予算額の推移等]													(単位:千円)	
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			10,326	7,145	5,601	2,990								
2月現計予算額の推移			10,326	6,303	5,436	2,990								
決算額の推移			9,539	4,677	4,094									
前年度までの主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	生活習慣病による死亡数 (人口10万人あたり)	(目標)	(173.9)	(169.9)	(166.0)	(162.0)		(162.0)	(162.0)	令和6年度の目標達成(平成29年度比12.8%)に向けた目標数 ※H29:185.8人 → R4:169.1人 → R6:162.0人				
		実績	177.0	180.3	171.2									
活動指標	認証メニュー数	(目標)	(267)	(266)	(211)	(252)				前年度認証数の維持 ※6年度は見込み数(令和7年2月20日時点)				
		実績	266	211	252	241								
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価						
・令和5年度の生活習慣病による死亡数(成果指標)は、前年度に比べ改善したものの、県民の歩数減少や食塩摂取量の増加など生活習慣の改善が不十分であったことから、目標未達となった。令和6年度の実績は、令和7年度末に確定予定。 ・活動指標(認証メニュー数)について、令和6年度は、認証機会を年1回から2回に増やし、新規店舗の拡大を行ったが、チェーン店における認証メニューの販売中止や認証店の廃業等により前年度認証数を下回った。				・認証メニュー数に増減はあるものの、安定的に一定数を確保できるようになったため、今後は「ふくい省塩プロジェクト」へ事業を統合した上で、「ふくい100彩ごはん」キャンペーンの実施により、「ふくい100彩ごはん」の認知度向上・購入促進を図る。				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額			
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	2,990			
								■ 整理統合	□ 廃止	□ その他				

わがまち健康推進員リーダー研修

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課		課長名	松森 義郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [4 住みやすさを高める(地域力)] 政策 [13 人生100年時代の充実生活応援]				関連する県の計画等		[第5次元気な福井の健康づくり応援計画]								
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]									
<p>本県の健康寿命の伸びは全国の伸びと比較して鈍化。地域での健康づくりを活性化するため、さらなるわがまち健康推進員の資質向上が必要である。</p>						<p>・本県の健康寿命の伸び(H28 → R1) 男性 +0.75歳(全国18位)72.45歳(H28)→73.20歳(R1) 女性 +0.48歳(全国30位)75.26歳(H28)→75.74歳(R1)</p>									
[事業目的]															
<p>各地域で活動する「わがまち健康推進員」を支援し、地域に根差した健康づくり活動の中核を担う人材を育成することで、県全体の健康づくりを広げる。</p>															
[事業内容]															
<p>わがまち健康推進員リーダー研修会を実施し、地域に根差した健康づくり活動の中核を担う人材を育成する。</p>															
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 75万人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績) 事業名					関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担) 事業名								
市町との連携状況						他県の状況									

わがまち健康推進員リーダー研修

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	健康福祉部	課名	健康政策課	課長名	松森 義郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率	—					□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額														
[予算額の推移等]												(単位:千円)		
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		0	300	200	113									
2月現計予算額の推移		0	60	200	113									
決算額の推移		0	60	200										
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	生活習慣病による死亡数 (人口10万人あたり)	(目標) (173.9) 実績 177.0	(169.9) 180.3	(166.0) 171.2	(162.0)		(162.0)	(162.0)	令和6年度の目標達成(平成29年度比12.8%)に向けた目標数 ※H29:185.8人 → R4:169.1人 → R6:162.0人					
活動指標	わがまち健康推進員数	(目標) (3,000) 実績 2,820	(3,000) 2,686	(3,000) 2,508	(3,000) 2,539		(3,000)	(3,000)	地域に根差した推進員の維持および増加					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価						
・令和5年度の生活習慣病による死亡数(成果指標)は、前年度に比べ改善したものの、県民の歩数減少や食塩摂取量の増加など生活習慣の改善が不十分であったことから、目標未達となった。令和6年度の実績は、令和7年度末に確定予定。 ・活動指標について、令和5年度のわがまち健康推進員数は、2,539人と前年度に比べ増加したが、高齢化等により人員の確保が難しくなっているため、目標未達成となった。				他事業における研修会において、わがまち健康推進員の参加も促し、資質向上を図るなど、引き続き健康づくりの後押しを継続。				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額			
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	113			
								□ 整理統合	■ 廃止	□ その他				